

鳴教かわら版 No.18



山下 一夫
鳴門教育大学長

野地 澄晴
徳島大学長

大橋 裕一
愛媛大学長

櫻井 克年
高知大学長

寛 善行
香川大学長

四国5国立大学法人連携による 「一般社団法人四国地域大学ネットワーク機構」設立式

(社員：国立大学法人 徳島大学，鳴門教育大学，香川大学，愛媛大学，高知大学)

教員養成は四国の国立大学で

2021（令和3）年3月18日（木），四国5国立大学法人（徳島大学，鳴門教育大学，香川大学，愛媛大学，高知大学）が社員となる「（一社）四国地域大学ネットワーク機構」を設立しました。この一般社団法人の理事には，5大学の学長が就任し，初代表理事に山下一夫鳴門教育大学長，副代表理事に寛善行香川大学長が就任しました。

同日，メイン会場の香川大学と各大学を繋ぎ，オンライン形式による設立式を挙行了しました。

当面の推進事業として，「教員養成は四国の国立大学で」をキャッチフレーズに，新しい時代を切り

拓く魅力ある教員を養成する「連携教職課程」を，2023（令和5）年度から実技系科目において開設することを目指しています。

同法人は，2021年度を目途に文部科学大臣から「大学等連携推進法人」の認定を受ける予定であり，教学上の特例の一つとして「連携教職課程」の構築が可能となります。各大学が協力し，魅力ある授業の開講を目指しています。

全国で初めて，複数の県を含む地域ブロックの中で全ての国立大学が参加する大学等連携推進法人が誕生する予定です。

四国地域大学ネットワーク機構の目的

四国の各国立大学がこれまでの連携によって推進してきた四国地域における高等教育の機能強化をさらに発展させることで，多様化するニーズや社会からの人材育成等に係る要請に応えるとともに，四国地域の発展に貢献すること

徳島大

鳴教大

香川大

愛媛大

高知大

社員

一般社団法人
四国地域大学ネットワーク機構

取り組む事業

- ・教職課程の一部を共同運営
- ・四国の地方創生に資する人材育成
- ・研究の活性化

設立

認定

文部科学省

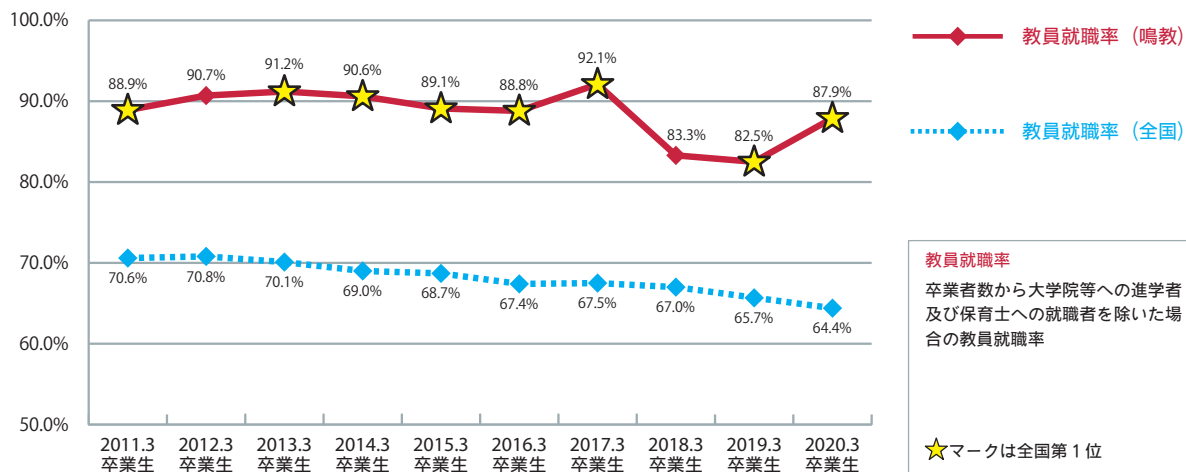
教員就職率全国第 1 位

文部科学省が2021年2月に公表した国立の教員養成学部・大学（教員養成課程）の2020年3月卒業者の就職状況において、本学は2年連続教員就職率全国第1位の栄誉に輝きました。

また、教職大学院でも、教員就職率100%を達成しています。

これからも、本学では、教職の夢を追い続ける卒業生・修了者への支援にも取り組んでいきます。

学校教育学部卒業者の教員就職率の推移（過去10年間）



附属小学校に警備員室（ガードマンボックス）の寄贈



(左から) 下山校長, 松村氏, 山下学長, 酒巻氏, 細田氏

附属小学校児童の保護者である松村芳紀氏から警備員室をご寄附いただきました。

これに伴い、2021年1月8日（金）、附属小学校において、感謝状贈呈式を挙行了しました。式では、下山敬子校長、月本直樹教頭、国際セーフティ（株）の細田まさる徳島支店長、本学的美馬持仁理事、原卓志副学長が出席するなか、山下一夫学長が「子どもたちが安全に学校生活を送れるよう日々見守ってくれている警備員の酒巻博昭さんに、雨風を凌げる場所を確保することができました。有効に活用させていただきます」と謝辞を述べ、感謝状を贈りました。これに対し、松村様から「いつもお世話になっている酒巻さんに喜んでいただけたら幸いです。附属学校の保護者として今後も貢献していく所存です」との力強いお言葉をいただきました。

大塚国際美術館へ親子遠足（附属幼稚園）



感染者数の少なくなった2020年11月2日（月）、大塚国際美術館に親子の笑顔があふれました。新型コロナウイルス感染症のため、園行事も変更や中止が余儀なくされることもあり、この年初初めての親子遠足でした。

美術館側の配慮で複数の学芸員を付けてくださるなど、安心できる感染症対策の中、アートを楽しむことができました。さらに、レストランの一面を確保していただき、「最後の晚餐」ランチを満喫しました。

保護者も本学との連携協力を知り、「附属でよかったね」との謝辞をいただきました。

春の叙勲、向井清 名誉教授、柿内慎市 元経営協議会委員



向井清 名誉教授



柿内慎市 元経営協議会委員

2021年春の叙勲で、向井^{きよし}清名誉教授が瑞宝中綬章を、柿内慎市 元経営協議会委員（徳島大正銀行取締役会長）が旭日小綬章を受章されました。

向井先生（英文学）は、言語系（英語）教育講座が開設された1984（昭和59）年に着任し、2006年3月まで本学の教育・研究の発展に貢献されました。

柿内氏には、2010年から2018年まで本学経営協議会委員及び学長選考会議委員として、本学の運営に貢献していただきました。「徳島の黄門さま」として、経済界だけでなく、教育界やスポーツ界など幅広い分野で活躍されています。

この度の受章、誠にありがとうございます。

遠隔教育プログラム推進室が徳島県から感謝状



飯泉嘉門徳島県知事から感謝状を受ける
藤村裕一遠隔教育プログラム推進室長（右）

2021年1月25日（月）、本学遠隔教育プログラム推進室が、徳島県から感謝状を授与されました。

本学大学院では、全国に先駆けて、2014（平成26）年から遠隔教育プログラムを導入・実施しており、これまで50名を超える教育関係者が、大学院生として同プログラムを受講しています。徳島県をはじめ、全国の教育関係者が働きながら学べる環境を構築するなど、教育における情報化の推進に大きく貢献したことが評価されました。

また同日、学校内や地域社会に対するICTの普及啓発等に貢献したとして、同室は公益財団法人e-とくしま推進財団からも表彰を受けています。

鳴門教育大学では、令和4年から新たに教職大学院遠隔教育プログラムを導入し、学びへの意欲がありつつも、教育現場を離れることが困難な現職教員に学ぶ機会を提供していきます。

2020年度の鳴門教育大学関係者の受賞



木原 資裕 教授
芸術・体育系教科実践高度化コース
（保健体育科）

〔徳島県スポーツ功労賞〕

永年にわたる徳島県スポーツの振興発展に貢献した功績が評価され、徳島県スポーツ協会から、表彰されました。（2021年2月11日）



黒川 衣代 教授
自然・生活系教科実践高度化コース
（家庭科）

〔2020年度ダイバーシティ推進共同研究表彰〕

ダイバーシティ推進共同研究制度において優れた業績をあげ、女性研究者の研究力強化に貢献しました。（2021年1月5日）



古川 洋和 講師
心理臨床コース
（臨床心理学領域）

〔第15回日本うつ病学会奨励賞
（医療保健分野）〕

演題「非定型うつ病の症状に関連する認知行動的要因：横断研究による標的変数の検討」が、第17回日本うつ病学会総会において配信されました。（2020年9月29日）

☆鳴門教育大学表彰☆（2021年3月17日）

第32回 前田賞

- ・後藤田紗那 さん（特別支援教育専修 4年）
- ・佐山 瑠梨 さん（中学校教育専修 国語科 4年）
- ・森友 裕太 さん（小学校教育専修 体育科 4年）

第25回 今堀賞

- ・濱屋 清子 さん（フランス語通訳者）

第16回 溝上賞

- ・佐々木麻那 さん（幼児教育専修 4年）

（所属及び職名、学籍等は、受賞時点の内容）

「GIGA スクール構想」をテーマに公開シンポジウムを開催

創立40周年記念事業の一環として、2021年1月9日(土)、オンライン会議システムを活用したシンポジウムを開催しました。県内外の副会場(阿南市・高松市)にも配信し、徳島県、香川県の教育委員会関係者、小・中・高・特別支援学校教員など、100名以上が参加しました。

『GIGA スクール構想』に学校・教職員はどう取り組んでいけばいいのかをテーマに、阪根健二特命教授の総合司会のもと、信州大学の佐藤和紀助教、徳島県立総合教育センターの濱口和弥教育情報課長、鳴門教育大学からは地域連携センター所長葛上秀文教授、藤原伸彦准教授、泰山裕准教授が、教育現場の状況やこれからのICT教育の在り方等について活発な討論を行い、GIGA スクール導入に戸惑う教員たちにも非常にわかりやすい内容であると好評を博しました。

徳島県議会議員、県教育長との意見交換会も実施

シンポジウム後には、6名の県議会議員、徳島県教育委員会教育長などの4名の教育関係者、山下学長など6名の本学関係者による意見交換会を実施しました。GIGA スクール構想において、学校、教育委員会、県議会、大学が相互に連携することが重要であること、鳴門教育大学が継続して支援を行っていくことなどが、和気藹々とした雰囲気のもと話し合われ、これからもこのような意見交換の機会を設けることで合意しました。

徳島県議会議員：岡田理絵副議長(当時)、北島一人議員、
黒崎章議員、立川了大議員、原徹臣議員、山西国朗議員(五十音順)
徳島県教育委員会：榎浩一教育長、平井琢二副教育長(当時)
e-とくしま推進財団：豊井泰雄理事長、相田芳仁専務理事(当時)

南あわじ市と連携協力協定を締結



守本 南あわじ市長(左)と山下 学長

2021年1月5日(火)、南あわじ市(兵庫県)と包括的な連携のもと、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とした連携協力に関する協定を締結しました。

締結式には、南あわじ市から守本憲弘市長、浅井伸行教育委員会教育長、仲山和史教育委員会事務局教育次長、鳴門教育大学からは、山下一夫学長、美馬持仁理事、速水多佳子准教授、谷村千絵准教授が出席しました。

守本市長は「鳴門教育大学と南あわじ市とが、いざという時にいのちを守る防災教育を一緒につくっていききたい」、山下学長は「共に、防災教育を中心に、子どもの主体性を育てていきたい」と抱負を述べました。

徳島県内の公立高等学校と教職大学院実習に関する連携協力協定を締結



(左から)臼井 名西高等学校長、
寺奥 小松島西高等学校長、山下 学長、
儀宝 徳島科学技術高等学校長

3月29日(月)、徳島科学技術高等学校(儀宝修校長)、小松島西高等学校(寺奥敦子校長)及び名西高等学校(臼井公仁校長)と、本学は実習に関する連携協力協定を締結しました。大学と高校が協力して教職大学院の実習を行うことにより、高校の実践的な教育研究の支援を図るとともに、優れた教員の育成に資することを目的としています。この3校は、実技系の専門学科が設置されています。

本学教職大学院における高等学校での実習に関して、鳴門高等学校及び鳴門渦潮高等学校の2校と連携協定をすでに締結しています。この度の3校を加え、県立高等学校において、すべての教科の教育実習が出来ることになりました。